

やまなし4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度の概要

		果樹	野菜、 作物（水稲を除く）	水稲
土壌炭素貯留の取組 であるため、定量化を行う。炭素貯留の直接的な取組み。		①草生栽培 0.4t ②堆肥などの有機物の投入 0.5t ③剪定枝チップの投入 0.3t ④剪定枝バイオ炭の投入 0.3t アチーブメント認証基準 炭素貯留量 1.0t	①緑肥の投入 0.3t ②堆肥などの有機物の投入 0.5t ③バイオ炭の投入 0.3t ④作物残さの投入 作物毎に設定 アチーブメント認証基準 炭素貯留量 ダイズ 0.4t スイートコーン、麦類 0.8t その他 0.6t	①緑肥の投入 0.2t ②堆肥などの有機物の投入 0.3t ③籾殻くん炭などのバイオ炭の投入 0.2t ④稲わら鋤き込み 0.6t (秋鋤き込み) アチーブメント認証基準 炭素貯留量 0.7t
		温室効果ガスの発生量が少ない 認証基準を設けていない	温室効果ガスである亜酸化窒素の発生量が比較的多い 亜酸化窒素発生量削減の取組 ①局所施肥による窒素施用量の削減 ②肥効調節型肥料による窒素施用の削減 ③マルチの利用 ④その他の窒素施肥量の削減 (土壌診断による適正施肥など) ①～④のいずれか2つ以上を実施すること 但し、窒素施用量5kg/10a未満の品目については亜酸化窒素の発生量が少ないことから1つの実施とする	温室効果ガスであるメタンの発生量が比較的多い メタン発生量削減の取組 ①中干しの延長 ②稲わらの秋鋤き込み ①は必ず実施すること
亜酸化窒素発生抑制の取組 温室効果ガス・メタン・	地球温暖化抑制に必要な項目であるが、炭素貯留の直接的な取組みではないため、定量化は行わない。			

取組内の数値は炭素貯留量 (t/ha/年) を示す